



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

臨時増刊号

令和3年11月5日
発行

5月に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、本校生徒の概要をお知らせします。本校3年生の結果は以下のとおりです。

【学力調査(国語・数学)から】

国 語	全 国 平 均	64.6	中伊豆中学校	○
	話す・聞く ▲	書く △	読む ◎	言語 ◎
数 学	全 国 平 均	57.2	中伊豆中学校	◎
	数と式 ◎	図形 ◎	関数 ◎	資料の活用 ◎

※ 中伊豆中の正答率(平均)を全国と比較して◎○△▲で示しています

◎…全国 +3.0ポイント以上 ○…全国 0から+2.9ポイント上回っている

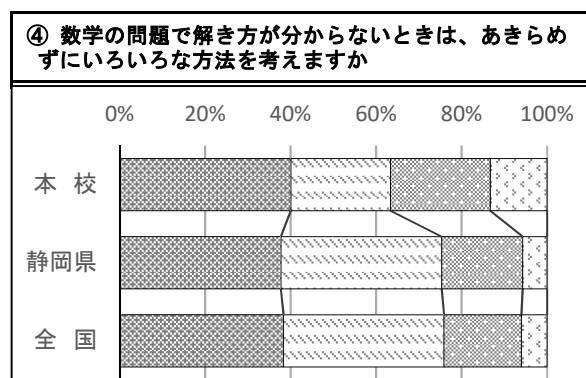
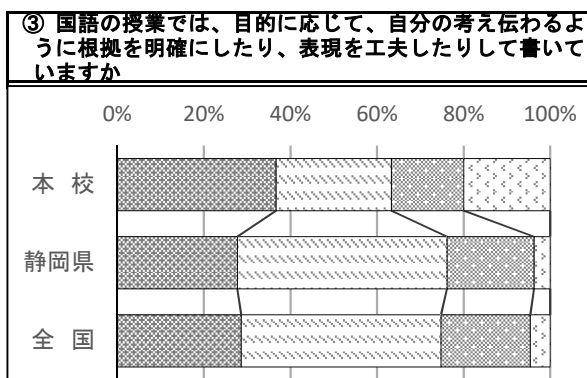
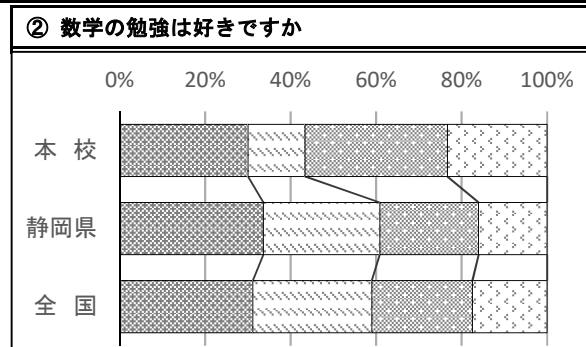
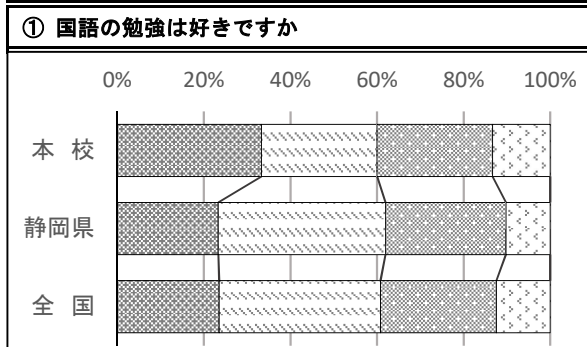
△…全国 0から-2.9ポイント下回っている ▲…全国 -3.0ポイント以下

国 語	【特に良かった傾向】 ○文脈の中における語句の意味を理解することができる。 ○相手や場に応じた敬語を適切に使える生徒が多い。	【そこで・・・】 ・生徒同士の意見を積み上げることを意識した話し合い活動を展開する。 ・教科書教材をもとに問題演習を行い、記述力の向上に努める。
	【今後、一層の努力を必要とする内容】 ●話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることに課題がある。 ●記述式の問題について、全国・県と比較して無解答率は低いが、正答率が低い傾向にある。	

数 学	【特に良かった傾向】 ○相対度数の必要性と意味を理解している生徒が多い。 ○データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題の正答率が高い。	【そこで・・・】 ・根拠を明確にした上で演習に臨むようにする。 ・式を読む力・課題解決に必要な条件を見つけ出す力・見通しをもって考える力・それらを表現する力の育成をめざした授業を実践する。
	【今後、一層の努力を必要とする内容】 ●目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力の定着が十分ではない。 ●ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題がある。	

【学習状況調査(質問紙)から】

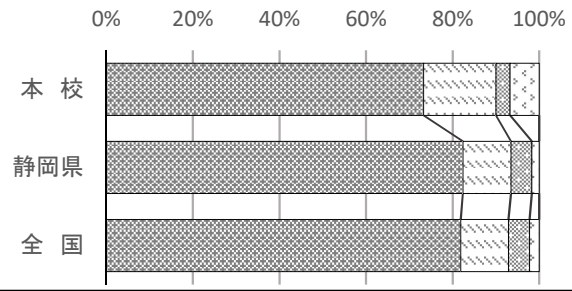
1…当てはまる 2…どちらかといえば当てはまる 3…どちらかといえば当てはまらない 4…当てはまらない



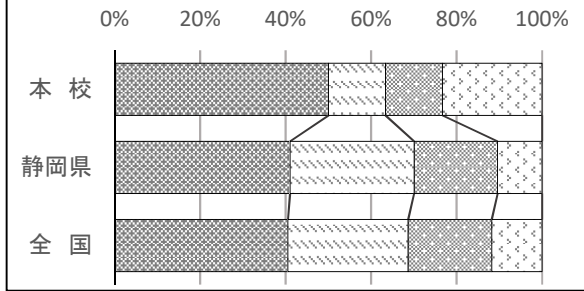
国語も数学も全国平均を上回っていて、常態的な学習の積み重ねができてきているようです。また、国語への関心や学びについても全国や県を上回り高い様子が見られますが、一方では、関心の低い生徒や思考や表現を苦しめている生徒もいて二極化の傾向が見られます。数学においても同じような状況が見られます。

1…当てはまる 2…どちらかといえば当てはまる 3…どちらかといえば当てはまらない 4…当てはまらない

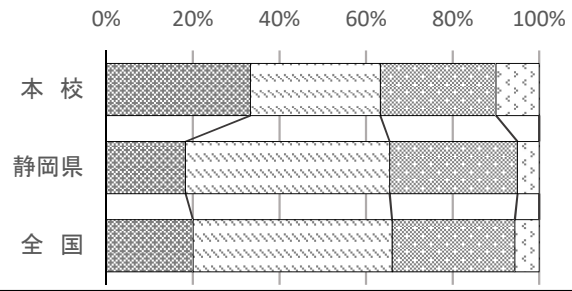
⑤ 朝食を毎日食べていますか



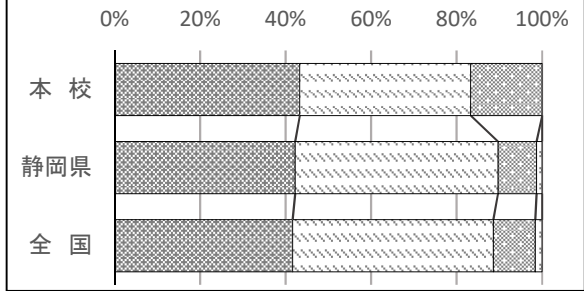
⑥ 将来の夢や目標を持っていますか



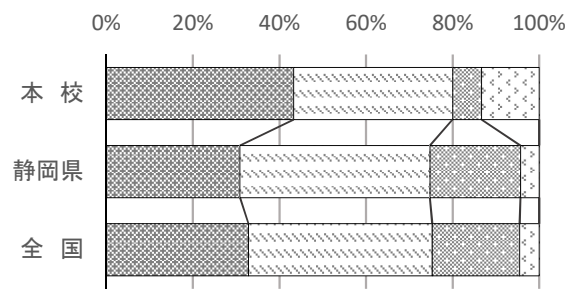
⑦ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか



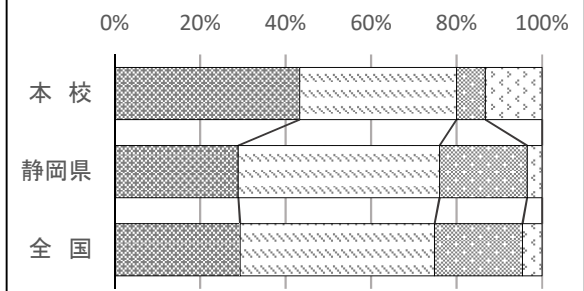
⑧ 人が困っているときは、進んで助けますか



⑨ 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉にして表すことができますか

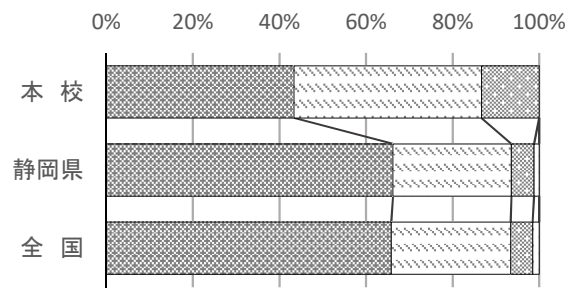


⑩ 自分と違う意見について考えることが楽しいと思えますか

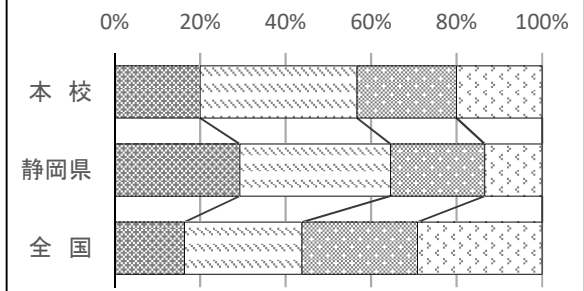


チャレンジ精神が旺盛で、夢や希望をもって充実した生活を送ることができている生徒が多いようです。失敗にもへこたれずに何度も起き上がって夢に向かって突き進む姿はとても素晴らしいです。また、困っている人を助けようとして、自分の思いを伝えたり、異なる意見に対しても受け入れようとしていたりする点は、本校生徒の良い表れだと思います。一方、朝食を摂る生徒が9割。中でも、毎日しっかりと食べる生徒が7割程度と、全国や県と比較しても少ない状況にあります。言い換えると、10人に1人は朝食を摂らずに登校しているようです。朝、炭水化物を摂取することによって脳の働きが活発になるようですので、朝食は必ず摂るようにしましょう。

⑪ 友達と協力するのは楽しいと思えますか



⑫ 今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域行事への参加に関する調査からは、⑫のような結果となりました。一昨年に実施した調査結果では7割強の3年生が参加しているとのことでした。現状のコロナ禍においては、学校行事ですら中止であったり、内容を縮小して行ったりしているため、地域の活動も同様に開催することも難しいように思われます。例年、夏と冬に行ってきた地区の防災訓練でさえも行えていないので、中学生が地域で参加できるものがほとんどないのが現状だと思われます。また、⑪の結果からは、友達と一緒に活動することを楽しいと感じている生徒が、全国や県と比較すると少ないことが読み取れます。コロナウイルスによる感染症が落ち着いて、通常の学校生活、社会生活が一日も早く送れるようになり、学校内や地域においても多くの人との関わりがもてる日がくることを切に願います。